

5. 和寒いきいきチャレンジプロジェクト

☞ 軽トラ市・ご用聞き隊実施による新たな需要の創出

【和寒町商工会】

地域の状況

■ 地域の概要

和寒町は、北海道二大水系石狩川と天塩川の分水嶺「塩狩峠」の麓に広がる自然豊かな町です。東、西、南の三方を比較的低い山岳に囲まれた丘陵地と中央部の平坦地からなる穀倉地帯で、名寄盆地の最南端に位置し、総面積 224.83 ㎡を有しています。

人口は、昭和 31 年の 11,736 人をピークに、平成 8 年には 5,000 人を下回り、平成 24 年 4 月末の人口は 3,865 人となっています。

■ これまでの問題点

少子高齢化及び地域経済の低迷に伴う人口の減少が進むなか、地域における活力（元気力）の低下により、更なる地域経済の低下が問題となっていました。

■ これまでの取組

「どんとこい！わっさむ夏まつり」、「全日本玉入れ選手権」や「パンプキンフェスティバル」などの各種イベントの開催においては、観光協会、商工会、行政や関係団体連携のもと、町が一丸となって取り組んでいます。



ゴールデンタイム in 軽トラ市

事業内容

■ 本事業での取組

(1) 社会貢献サポーターポイント制度

商業活性化と福祉の向上を目的とし、対象事業メニューに基づく取組に対してポイントを付与し、地域住民自らの行動により、地域の活力（元気印）向上を図る制度を検討しています。

- 対象事業メニューの検討
- 対象事業ポイントの検討
- 制度要綱・要領の検討

(2) 市街地賑わいつくり活性化トライ事業

- ゴールデンタイム in 軽トラ市（軽トラで気軽に出店・楽しく参加！）

商店街の空き地及びその周辺の駐車場を活用し、商工業者はもとより住民の方々や各種グループも気軽にトラックに商品を積んでイベントに参加してもらい、市街地の賑わいつくりを図りました。また、車イス利用者など自力で来場できない方を町民サポーターが、イベント会場まで介助するなど社会貢献事業を行いました。

- もっと気軽にお買い物お助け隊（ご用聞き隊）

商店に買い物に出向くことが困難な方の手助けとなるよう、商工業者が軽トラ等で福祉施設や自治会館などへ出向き、店開きや御用聞きをしました。また自力で来場できない方を町民サポーターが会場まで介助するなど社会貢献事業を行いました。

■ 取組の中で生じた課題

社会貢献サポーターポイント制度については、対象事業メニューの区分やボランティア内容の細分化、お礼としてのポイントの基準設定がなかなか決まらず、実施要綱等の設定ができませんでした。

■ 取組に関する課題への対応

ポイントの付与の仕方や交換方法について、有償ボランティアを実施している旭川市

や札幌市などから情報収集を行いポイント化の基準設定に取り組んでいます。

■ 地域の関係者との連携体制（メンバー）

和寒町商工会、JA北ひびき、和寒町商業振興協同組合、和寒町をメンバーとする「和寒いきいきチャレンジプロジェクト」が、事業の推進にあたりました。また、以前よりこの4団体が連携し、各種イベントを実施していることもあり、本事業を実施するうえで、連携体制構築にあたり、特に問題等は生じませんでした。

■ 事業を実施した中で気づいた点や工夫した点

店での取扱商品を知っていただき、後日店に消費者を呼び込むため、軽トラ市やご用聞き隊の出店に際しては、軽トラの限られたスペースにできるだけ多種多様な商品を積むことで、どのような商品を店で取り扱っているかを知っていただく工夫をしました。後日、除雪用品や日用品等について、ご用聞き隊で見たという問い合わせを直接いただきました。

また、ご用聞き隊では20足程度あった長ぐつが完売し、店まで商品を取りに行ったことや、利用者の女性やお年寄りなどは、大きな荷物を運べないため、ティッシュペーパーを購入していくこともあり、店に置いていただけでは売れなかった商品が売れるなど、軽トラ市・ご用聞き隊は、利用者出展者双方にとってメリットがあるイベントとなりました。

今後の取組

今後も軽トラ市、ご用聞き隊については継続して取組を行っていく予定です。

軽トラ市については、更なる賑わいを演出するため、商業者以外の、農業者、各同好会などにも参加を呼びかけるほか、使用車両に

についても軽トラックだけでなく、軽自動車についても参加を認め、幅広く誰もが参加できるイベントとして取り組んで行く予定です。

ご用聞き隊については、利用者から、開催場所や回数を増やして欲しいとの要望が出ており、25年度については、開催回数は3回でしたが、26年度は開催する回数・場所を増やすなどの工夫をしていきたいと考えています。

一方で、町内には民間企業や大手コンビニエンスストアが実施している買い物配達サービスを利用している方が多くおり、自分では運転できず買い物に困っている方も、家族等の支援により旭川市の大型量販店まで買い物に行っている状況があるため、開催する回数・場所ともに慎重な検討が必要であるとの認識を持っています。

社会貢献サポーターポイント制度については、25年度中の実施は難しいと考えていますが、町民の方々からの要望もあるため、地域の関係者との連携のもと、26年度以降実施していきたいと考えており、福祉政策という形で取り組んで行けるよう今後とも町との協議を続けて行く予定となっています。



もっと気軽に買い物のお助け隊

和寒町商工会

【所在地】 〒098-0132 上川郡和寒町字西町18番地

【代表者名】 会長 浜田 義昭

【連絡先】 TEL 0165-32-2341 FAX 0165-32-3104

【E-mail】 wamu18@rose.ocn.ne.jp